

新任の駐日南ア大使が日本 A A L A 本部を訪問しました。

6 月に着任した南ア共和国のルラマ・スマツ・ンゴニャマ大使が 7 月 29 日午後、ティラナ・グローブ参事官（政治担当）とともに日本 AALA の本部事務所に来訪し、田中代表理



事と野本事務局長が応対しました。通訳は尾崎芙紀国際部員。以下は内容です。

（写真：右から 2 人目が大使、左端が参事官、その右隣が尾崎さん）

大使 私の名前のンゴニャマはライオンの意味です。2 カ月前、スペインから直接日本に来ました。日本に来るのが楽しみでした。長い協力の歴史をもつ JAALA との関係をさらに固めていきたいと思います。（同席の参事官について）彼女も 3 カ月前、外務省の多国間組織局から日本にきました。2 人とも日本は初めてです。

田中 <1957 年の第一回 AA 人民連帯会議（カイロ）で会って以来の日本 AALA と ANC との関わりを説明、特にアフリカの民族解放運動と沖縄の日本復帰運動が強い結びつきとなって世界で 4・28 行動が行われたこと。タンボ議長の来日で ANC 東京事務所の設置が決まり、初代代表のマツイーラ氏がいま国連大使として活躍していることに注目と説明>

大使 日本 AALA と南ア共和国の歴史を振り返ってお話いただき感動しています。私は連帯して南アの運動を支援していただいたことを忘れません。私達の思い出は消えることはないし、大国がそれらを片隅に追いやろうとしても過去の協力は消えません。暗い状況の時も支援してくれたし、過去のこともこれからに繋がっていくと思います。

田中 ラマポーサ大統領の指導の下で南アが核兵器禁止条約を批准し、国際社会で主権擁護のたたかいで指導的な役割を果たしていることに励まされています。

大使 反核のモラルと理想の精神は高く、高いところにもっていききたい。オリバー・タンボ議長は来日した時いち早く広島を訪れました。マンデラ大統領も広島を訪れ、反核・平和を強調しました。南アの解放（マンデラ氏が大統領に選ばれた記念日）の 4.27 は、期せずして沖縄国際連帯デーの 4.28 と重なっていますね。ともに祝いたいです。今日は日本 AALA に敬意を表するためにやってきました。これからも高いモラルをもって友情を続けていきたいと思います。

田中 マンデラ生誕 100 周年の昨年暮れ、記念講演会をやりました。いまトランプ米大統

領が人種差別や民族排外主義をあおっているのです、差別反対の運動は特に大事だと思います。

大使 マンデラ生誕 100 周年を祝っていただきありがとうございます。私達にとっても重要なことでした。今のアメリカ大統領のやっていることは世界で居場所を見つけられないし、彼の差別主義、狭いナショナリズムの考えは、結局は消えていくでしょう。

田中 グローバルメディアが情報を支配して、AALA 地域のことをネガティブな情報ばかりゆがめて報道しているのは問題だと思っています。たとえば南アについて腐敗や土地の強制収容の問題が正確に伝わらないので人々は心配しています。ですから皆さんと直接、情報のやりとりをして惑わされないようにしたいと思っています。

大使 日本 AALA とは情報を交換したいし、また、南アについても話していきたい。南アにも格差や貧困の問題があるし差別も残っています。私たちはそれを隠さず公にして克服するためにたたかっています。腐敗の疑惑の問題についても調査委員会をつくって、大統領の兄弟や子供たちの公開での証言も得て解明に努力しています。お互いに情報を直接交換して真実を知るようにしたいです。ところで日本 AALA はどんな組織でしょうか？

田中 独立した組織です。＜日本 AALA の会員、読者、などについて説明＞

参事官 NPT 再検討会議に参加されますか。国連の NGO 資格がありますか。

田中 ＜国連の資格はないが NAM のオブザーバー資格があり、秋のアゼルバイジャン首脳会議に参加すると説明＞

大使 きょうは「人民の家」を訪問してよかった。ここにはたたかう人たちの息吹があります。

＜その後、大使は、東京 AALA 理事会に足を運び、役員の会議の様子だけでなく運動に実際関わっている姿を見ることができて良かったと嬉しそうに挨拶をしました。＞